

岐阜工業高等専門学校 教育後援会通信

編集：教育後援会事務局

第27号

平成26年12月19日発行

あがら

2014年10月25・26日
第50回高専祭

地区保護者懇談会に出席して



教育後援会副会長

大倉 野 孝

11月15日に行われた東濃地区保護者懇談会に参加させて頂きました。地区保護者懇談会に参加すること自体が初めてでしたので、非常に興味を持って参加しました。

東濃地区ということもあり、ほとんどの学生が寮生です。そのため懇談会では寮生活の話が中心となりました。上級生の保護者の方々の経験・体験話が、一年生の保護者の方々の心配事を少しは緩和できたのではないのでしょうか。学校関係者の皆様が、寮生活を少しでも良いものにできるようにご尽力を賜っていることもよく理解できましたと思います。寮での団体生活、勉強、理不尽なルール、上級生との付き合い等心配事は絶えないと思いますが、そのことにより強く育っていることは、通学生の親としてはうらやましい一面もありました。

校務報告で説明のあった、財布の紛失も話題となりました。財布は現金のみならず、カード、身分証明書等も入れている場合があります。親としてしっかり管理させる必要があることを再認識させられた会でもありました。

話が非常に盛り上がり、予定時間を超えての懇談会となりました。機会があれば違う地区の懇談会にも参加したいと思いました。

最後に参加していただいた保護者の皆様、遠方にもかかわらず足を運んでいただいた先生方、ありがとうございました。

保護者見学会に参加して

1年生 保護者

6月20日教育後援会保護者見学会に夫婦で参加しました。5月の教育後援会総会に出席した際、見学会の案内があり毎年定員をオーバーするほど人気がありますとの事と高専の特徴をより理解したいと思い参加を申し込みました。

セントレア空港の行き帰りのバスの道中では、各学科長より進路・進学状況をはじめ学校生活の現状をご報告いただき、バスの席順で保護者全員からの質疑に回答いただきました。特に上級生の保護者の方々のお話はとても実感があり今後の参考になるものでした。

セントレア空港の施設サービス会社に勤務されているOBの方々のプレゼンの後、在校生へのアドバイスの中で、働きながらも資格取得の為に勉強が必要な事や在学中に勉強の仕方を身に付けておくことが重要です。との言葉が印象的でした。

バスの道中をはじめ空港見学、昼食会と一日を通して先生、先輩保護者の方々からたくさんのお話を聞く事ができ見学会に参加してとても良かったと思います。

今後も出来る限り学校行事に参加し親子共々、高専生活を充実させるべく理解を深めて行きたいと思います。後援会の役員、事務局の方々をはじめ先生方に御礼申し上げます。



展望台からの説明

保護者見学会でセントレア空港へ

4年生 保護者



何よりも先輩方と一緒に説明をする息子の姿に安心致しました。

来年は二男も五年生になり、最後の参加になる事を願っております。このように貴重な体験が出来る見学会を企画して頂いている役員の皆様に感謝致します。有難うございました。

長男が入学した年も行き先は「セントレア空港」でした。今回の参加は四月に「セントレア空港(正式には中部国際空港施設サービス(株))へ就職した長男の姿もみれるのではと期待しながら参加しました。

空港は何度か利用したことがありますが、改めて説明を聞いたり、見学するうちに違う視点から情報を得る事が出来ました。厳重なセキュリティシステムや管理体制、滑走路の点検など仕事内容も知る事が出来ました。✓



OBによる説明

50周年記念レセプションホール改修にあたって

校長 北田 敏 廣

岐阜工業高等専門学校創立50周年記念事業につきましては、教育後援会の皆様には大変お世話になり、ありがとうございます。記念式典等が滞りなく実施できましたこと、教職員一同、厚く御礼申し上げます。

教育後援会ははじめ皆様方からの寄付金をもとに、このたび50周年記念事業の一環として、福利施設食堂を岐阜高専で行われる内外の研究会・集会が開催することができる“レセプションホール”にも活用できるようにリニューアルしました。食堂の西側約60㎡を移動間仕切で区画可能とし、プロジェクター・スクリーンを完備することに加え、エアコンを増設しました。また、調光可能なLEDライトの採用により、消費電力を大幅に削減しました。

この改修により、多様な利用者のコミュニケーション等を促し、知的創造活動が活性化されることを期待しています。

今年度の地区別懇談会（岐阜・西濃地区）の一部でご出席の皆様方にはご披露させていただきましたが、高専にご来校の際には、お立ち寄りいただき、新しくなりました福利施設食堂“レセプションホール”をごらんください。



レセプションホールでの概要説明

西濃地区保護者懇談会報告

後援会 会計監査 浦田 志保

11月16日に教育後援会主催の保護者懇談会に参加しました。100名近い出席で日曜日ということもあり、ご夫婦で参加されるなど保護者の方々の我が子への熱心な思いを持たれる方が多数集まりました。学年で言いますとこれは毎年の傾向ですが、1・2年生の保護者の割合が多いようです。

全体会では、堀口後援会会長の挨拶の後、配布資料をもとに日頃の学生の様子について副校長の加藤先生から説明がありました。また各学科の先生の個性あふれる自己紹介を楽しく聞かせて頂きました。このように先生方から直接伺うことは、岐阜高専をよりよく理解する機会に繋がると思います。続いて行われた学科別分科会は、生活や学習についての個人的な質問が気軽に話せる懇談会となり、先生や先輩保護者の貴重なアドバイスを受ける事が出来ました。

今年は50周年記念として新たに建てられたレセプションホールの見学や記念グッズの即売もあり、いつもより少しお得な地区懇談会でした。



地区懇全体会

地区懇談会に参加して

2年生 保護者

朝夕冷え込む季節となり、今年も地区懇談会に参加させていただきました。わが子が岐阜高専に通い始めて1年8か月が過ぎ、授業に部活に忙しく充実した日々を送っているようです。ただ親としては岐阜高専で娘が毎日どのように過ごしているのか分からないことが多いことも事実です。

その不安を解消してもらえるのが地区懇談会だと思います。

全体会においては先生方から最近のトピックスや学生生活全体の説明を丁寧にしていただき、とてもよく理解できました。また後半の分科会では3年生以上の保護者からのアドバイスが大変参考になったことに加え、1,2年生の保護者が自分と同じ様な悩みや疑問を持っていたことが分かり少し安心しました。

私自身地区懇談会の参加は今回で2回目ですがこれからも出来るだけ積極的に参加したいと思っています。先生方には貴重な休日にもかかわらずご参加いただきまして、ありがとうございます。



地区懇分科会

海外インターンシップ報告

電子システム工学専攻1年 川 端 幹

私は、海外インターンシップとしてイギリス、ダラム州にあるTYK Limitedにて三週間お世話になりました。工場では日本社員の方が3人と現地の作業員約40名が働いています。実習ではイギリス人の作業長に指示を受け作業しました。主に品質管理や寸法検査を行いました。実習開始と同時に英語で説明され、なんとか理解して作業しました。分からないことは稚拙な英語で質問しました。また、自分たちだけでスコットランドやロンドン市内を観光しました。こちらも日本とは違う文化や習慣を体験でき、とても有意義な時間を過ごせました。最後にこのような貴重な体験をさせていただいたTYK-L様ならびに各関係者の方々に感謝します。ありがとうございました。



電子システム工学専攻1年 林 周 平

私は英国ダラムにあるTYK Limitedで3週間の実習を経験してきました。現地では英人の作業員の方に指導をもらいながら実習を進めましたが、当初は英語でやり取りするのに苦戦しました。つたない英語ながらコミュニケーションも取れるようになり、担当してくれた作業員が実は同い年だったことや、「昨日はビール飲んだか？」など仕事以外でも会話が進むようになりました。今まで学んできた英語を普段使うことは無かったため、ツールとして使えることを改めて実感しました。休日にも有意義に過ごすことができ、充実したインターンシップだったと思います。最後に、貴重な機会を与えてくださいましたTYK様、TYK Limitedの皆様、並びにご支援いただいた関係者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



電子システム工学専攻1年 磯 谷 武

僕は8月下旬から9月中旬までインドネシアで海外実習をしてきました。僕にとって初めての飛行機搭乗であり、初めての海外、一人での海外、何から何までが初体験ばかりでした。空港での危険なタクシー、時間にルーズな従業員、人間性あふれた生活の雰囲気を目の当たりにした僕は、感覚が麻痺したせいか、インドネシアでも自力で生活に馴染むことができました。インドネシアではホストファザーにインドネシア語を習い、今でも暇を見つけては勉強を続けています。はじめはコミュニケーションが上手くとれませんでした。自分でもうにかしように働きかけるうちに辛いコミュニケーションが楽しいものへと変わっていきました。僕は海外実習を通して、自ら働きかけて環境を改善する能力を身につけることができました。と思います。



海外インターンシップ報告

電子システム工学専攻1年 黒田 貢規

私は、マレーシア工科大学で3週間の海外インターンシップを行ってきました。実習内容は、生体医工学に関するものです。英語を使ったコミュニケーションや研究発表は、思った以上に難しいものでしたが、今の自分の未熟さを知ることが出来ました。また、外国の事情を知るだけでなく、外国から見た日本のイメージを知ることが出来たのは良かったです。一緒に写真に写っているのは、同じ寮で生活をしたインドネシアから短期留学で来ていた人達です。初めて同年代の海外の友人が出来て、とてもうれしかったです。彼らから見た日本は憧れであり、若い人達の日本への興味・関心は、自分が思っていたものよりもはるかに高く驚きました。また日本人として、とても誇らしく思えました。いつか、彼らが日本に来てくれる日を楽しみにしています。今回、海外インターンシップを実施するにあたり、ご支援していただいた関係者の皆様に深く感謝致します。



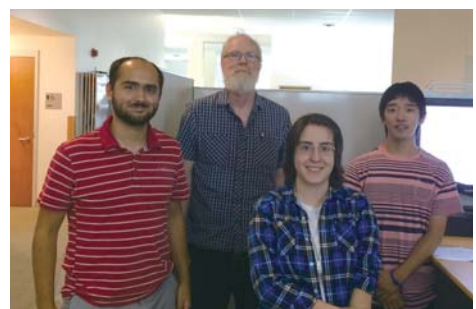
建設工学専攻1年 山上 善大

3週間という短い期間でしたが、私は今回のインターンシップを通して大変多くのことを学ばせていただきました。現地では学生一人一人の意識が非常に高く、何事にも意欲をもって取り組む姿勢を目の当たりにして、日本での自身の姿勢を見直さなければならぬと感じました。また、日常生活では英語力の不十分さを痛感しました。Doris先生とのディスカッションでは専門的なことを深く掘り下げるができず、現地でサポートをしていただいた方々や、寮にて交流があったインドネシアからの留学生とのコミュニケーションさえも十分に取れないことに歯痒い思いをしました。しかし、専門的な知識の面において岐阜高専で学んだことは十分劣っていないと感じました。今後は、将来グローバルな人材となるためにも専門知識を深め、英語力の向上に努めたいと考えます。



電子システム工学専攻1年 篠田 宗祐

8/25から9/12にアメリカのアイオワ大学へ海外インターンシップとして行ってきました。実習内容は主に研究室や実験施設の見学をしました。当然、日本人以外の方は英語での説明でしたが、みなさん丁寧に説明してくださったおかげで理解することができました。他には専門の授業に参加をしましたが、普段自分達が受けている時と違い、疑問点はすぐ質問し、問いかけには大勢が答え、授業終了後にも教授のもとへ質問しに行く姿勢など、現地の学生の積極性の高さが印象的でした。今回、私は一人で行くということで初めは非常に不安な気持ちでいましたが、現地の日本人教授や、6月に岐阜高専にインターンシップ生として来ていた学生とコンタクトを取り様々なサポートをして頂いたおかげで非常に有意義に過ごすことができました。最後に、短い期間でしたが貴重な体験をさせてくださった関係者の方々にとても感謝しております。ありがとうございました。



行事予定

◆教育後援会行事予定

平成27年 4月19日(日) 教育後援会役員会 10時30分～(平成26年度役員)
5月10日(日) 教育後援会総会 13時30分～

◆主な学校行事予定

1月 4日(日)～9日(金) 第49回全国高専体育大会(ラグビーフットボール:神戸市立)
6日(火) 冬季休業終,開寮 13:00
7日(水) 開講,補講・補習(1・2年・専攻科)平常授業(3～5年)
8日(木) 月曜日の時間割
9日(金) 補講・補習(本科)
10日(土) 寮生スキー研修
15日(木) 国立高等専門学校学習到達度試験(3年:数学、物理、午後平常授業)
16日(金) 寮生成人祝賀会
17日(土) 第48回吹奏楽部定期演奏会(羽島文化市センター)
21日(水) TOEIC試験 3年
24日(土)～25日(日) 全国高専英語プレゼンテーションコンテスト(東京)(主管:函館)
2月 4日(水)～10日(火) 後期期末試験(5年)
12日(木) 補講・補習(1～3年)、平常授業(4・5年)
12日(木)～18日(水) 後期期末試験(専攻科)
13日(金) 大掃除(1・2年)
16日(月) 休講
17日(火) 補講・補習(1～3年)、平常授業(4・5年)
18日(水) 平常授業(5年)
18日(水)～25日(水) 後期期末試験(1～4年)
19日(木) 月曜日の時間割(5年)
19日(木)～23日(月) フォローアップ授業・補講・補習期間(専攻科)
24日(火)～28日(土) 特別研究補講(専攻科)
26日(木)～3月3日(火) フォローアップ授業・補講・補習期間(1～4年)
3月2日(月)～18日(水) 休講(専攻科)
3月 3日(火) (授業終了後)校長講話、副校長訓話、学生会総会、大掃除、学級指導
4日(水) 寮生部屋替
4日(水)～18日(水) 休講(本科)
5日(木) 閉寮14:00
5日(木)～7日(土) 寮生会役員合宿研修(乗鞍)
19日(木) 第48回卒業式(本科)、第19回修了式(専攻科)、閉講
20日(金) 学年末休業始
31日(火) 学年末休業終、後期終、学年終

発行:岐阜工業高等専門学校・教育後援会事務局

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236-2 TEL.058-323-8752

FAX.058-322-6571

E-mail gnctk@iaa.itkeeper.ne.jp